

カッチャバ湿原のトンボ観察 & 大井沢で一日昆虫博士

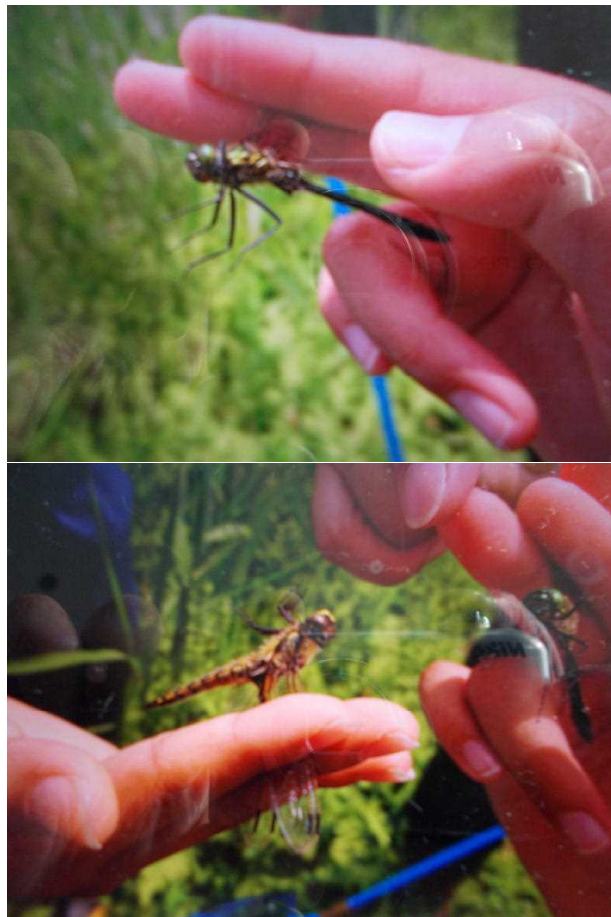
第1回朝日自然塾(※)が6月22日(土)に、山形県西村山郡西川町大井沢地区で秋山宏幸さんを講師に迎え、朝日自然塾連絡協議会の西川町自然と匠の伝承館・大井沢自然博物館、西川町役場等の協力を得て実施しました。

今年は天候にも恵まれ、10組21名(不参加1組2名)と昨年の3倍以上の参加をしていただきました。

伝承館での開会式後、参加者が3班に分かれカッチャバ湿原に移動を開始しました。移動途中にも各班の講師・スタッフによる、色々な植物の特徴や解説・見所などを聞きながら湿原に到着。その後は、家族や友達同士それぞれに網を広げて、目指せ「ハッチョウトンボ！」でしたが時期が合わず姿を見ることは出来ませんでした。それでも、色々なトンボを捕まえては、講師・スタッフに名前や特徴を尋ねていました。



虫かごに入れて様子を観察



捕まえたトンボの観察

湿原中央の小島にはモリアオガエルの卵塊もあり、ちょうどオタマジャクシになって湿原で泳ぐ姿も観察されました。また、それを捕食するアカハライモリもそばで見つかり、自然界の食物連鎖の勉強会にもなりました。捕まえたトンボやイモリは、そのまま湿原周辺にお帰りを願い1時間ほどで湿原を後にして、帰り道は再度森林散策へと移りました。

昼食後は、講師秘蔵の日本・世界のカブトムシ・クワガタムシ・セミ・チョウなど様々な昆虫標本で勉強会、昆虫博士の仲間入りを経験しました。また、自然博物館で昭和26年当時の、大井沢小中学校で取り組まれた自然学習の成果である、数多くの動物のはく製を見学し終了となりました。

※朝日自然塾：東北森林管理局と朝日山地森林生態系保護地域の利用と保護管理に深く関わりをもつ各団体が協力し、朝日山地及び周辺地域において体験活動型森林環境教育を推進するため企画実践しています。

東北森林管理局
朝日庄内森林生態系保全センター